



## 巻頭言

著者	土居 洋子
引用	大阪府立大学看護学部紀要. 2006, 12(1), p.A1
その他のタイトル	Foreword
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/3247">http://hdl.handle.net/10466/3247</a>

# 巻 頭 言

大阪府立大学看護学部学部長 土居 洋子

羽曳ヶ丘の地に平成6年4月に大阪府立看護大学看護学部を開設して、11年経過いたしました。その間キャンパスの木々は見事に成長し、春には満開の桜、秋には黄金の銀杏が学園を彩り、建物は周囲にマッチするようになりました。これらの風景に象徴されるように、看護学部と大学院看護学研究科の学生と院生は教職員のもとに着実に成長し、羽ばたいて行きました。

平成17年4月から大阪府立看護大学は法人化、統合され、大阪府立大学看護学部、および看護学研究科として再出発いたしました。看護学部は平成10年に大学院看護学研究科前期課程を平成12年に後期課程を開設し、後期課程の修了生を3期輩出し統合されましたので、タイミングとしては誠に時期を得たものでありました。7学部6研究科を有する総合大学の1学部1研究科となったのですから、研究科間、学部間の競争的環境にあって、研究を積むことにたゆまず奮励努力するよう迫られております。

そこで、平成6年の開設当初に出版を開始した「大阪府立看護大学看護学部紀要」は、第11巻第1号を最終号とすることとし、ここに新規に「大阪府立大学看護学部紀要」を出版することにいたしました。「大阪府立大学看護学部紀要」は、これまでと異なって、研究科の前期課程、後期課程の学生も投稿できることになりました。奮ってご執筆いただき、内容、容量とも以前に増して優れたものとなりますよう期待してやみません。

—— なせばなる なさねば成らぬ 何事も

成らぬは人の なさぬなりけり —— [上杉 鷹山 公]